

2010 年度アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト実施報告

International Intercultural Mural Exchange [IIME]

～アートマイルで世界と繋がった教師と子どもたち～

ジャパンアートマイル (JAM)

2010 度は文部科学省の後援事業としてアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト (IIME) を実施した。海外からの参加は 20 の国・地域と増え、日本校と海外校の 57 ペアが国際交流壁画共同制作を実施した。参加学年は小学校 1 年から大学 1 年までと広がり、本プロジェクトが、どの学年、どの教科で取り組んでも学習成果が得られることが実証された。これまでの実績が評価され、23 年度から採用される小学校の図画工作の教科書に実践成果が掲載され、アートマイルの研究論文が「第 3 回日本視聴覚教育協会」の井内賞を受賞した。

1 2010 年度プロジェクト参加校

海外 20 の国・地域の学校が IIME に参加して、日本校と海外校の 57 ペアがプロジェクトに取り組んだ。

【相手国・地域】

アゼルバイジャン、アメリカ、イタリア、イラン、インドネシア、ガーナ、カナダ、カタール、カメルーン、韓国、グアテマラ、ザンビア、台湾、ニュージーランド、パキスタン、東エルサレム、フランス、ポーランド、モロッコ、ロシア

【参加校/参加人数】

日本:30 校 57 学級(グループ)1546 名 / 海外:46 校 57 学級(グループ) 1541 名 計 3087 名

2010 年度 IIME 参加校リスト			
No.	国・地域	日本校	海外校
1	アゼルバイジャン	大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2 年	School Lyceum 220 中学 2 年
2		大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2 年	School Lyceum 220 中学 3 年
3	カメルーン	石川県金沢市立小坂小学校 5 年	Ecole Publique Groupe 2A
4	カナダ	香川県観音寺市立観音寺南小学校 6 年	Hillcrest 小学校 6 年
5		香川県観音寺市立観音寺南小学校 6 年	Hillcrest 小学校 6 年
6		石川県金沢市立金石町小学校 3 年	Wellington 小学校 2・3 年
7		兵庫県姫路市立手柄小学校 4 年	W.H.Day 小学校 5・6 年
8		石川県金沢市立浅野川小学校 5 年	Clearview Meadows 小学校 4・5 年
9		石川県金沢市立浅野川小学校 5 年	Wellington 小学校 4 年
10		石川県金沢市立菊川小学校 1 年	Doverwood 小学校 1 年
11		東エルサレム	石川県金沢市立四十万小学校 6 年
12	石川県金沢市立四十万小学校 6 年		Al Toor Preparatory 小中学校 6 年
13	愛知県岡崎城西高校 1・3 年		Al Toor Preparatory 小中学校 9 年
14	フランス	大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 1・3 年	France Artmile
15	ガーナ	石川県金沢市立小坂小学校 5 年	Shakiriya 小学校 6 年
16		兵庫県明石市立野々池中学校 1・3 年	Nwodua Roman Catholic
17	グアテマラ	東京都江戸川区立一之江第二小学校 4・6 年	Mixta Tipo Federaci3n 5 年
18	インドネシア	兵庫県明石市立野々池中学校 1・3 年	SMA Negeri 1 Blahbatuh 高校 2 年
19		宮城県仙台市立第二中学校 2 年	SMP Negeri 5 中学校
20		大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2 年	SMP Negeri 24 中学校 2 年

No.	国・地域	日本校	海外校
21	インドネシア	大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2年	SMP Negeri 37 中学校 2年
22		石川県金沢市立夕日寺小学校 6年	SDN Kandangan 1 小学校 5年
23		石川県金沢市立夕日寺小学校 6年	SDN Kandangan 3 小学校 5年
24		北海道浦河町立堺町小学校 6年	SDN Kaliasin 1 小学校 5年
25		北海道浦河町立堺町小学校 6年	SDN Perak Barat 小学校 5年
26		石川県金沢大学附属小学校 6年	SDN Petemon 13 小学校 5年
27		東京都中央区立月島第三小学校 4-6年	SD Hang Tuah 10 小学校 4-5年
28		兵庫県立西宮今津高校 2年	Kintamani 高校 2-3年
29		兵庫県赤穂市 Sherry 英語教室高校 2年	SMA Negeri 1 Ubud 高校 2年
30	イラン	大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2年	Farzanegan Zeynab 中学校 3年
31		大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2年	Farzanegan Zeynab 中学校 3年
32	イタリア	香川県観音寺市立観音寺南小学校 5年	Padova 小学校 3年
33		香川県観音寺市立観音寺南小学校 5年	Padova 小学校 5年
34		熊本県熊本市立春日小学校 6年	Narni 小学校 4-5年
35	韓国	石川県金沢市立木曳野小学校 4-6年	MunBaek 小学校 6年
36		石川県金沢星稜大学	Hanyang 高校 1-2年
37	モロッコ	東京都立田柄高等学校 1-3年	Ittihad Riadl 高校 2年
38	ニュージーランド	兵庫県赤穂市 Sherry 英語教室小学校 5-6年	Mission Heights 中学校 1-2年
39	パキスタン	愛知県知多市立旭北小学校 6年	Funkor Child Art Center 小学校 5-6年
40		京都府木津川市立木津中学校 1-3年	Sanjan Nagar P E Trust 中学校 1-3年
41	ポーランド	埼玉県熊谷市立江南中学校 3年	Szkoly Spoleczne im. Ksiecica J Poniatowskiego Towarzystwo Oswiatowe 中学校 2年
42	カタール	兵庫県赤穂市 Sherry 英語教室中学校 3年	Abdul Rahman 中学校 1-3年
43	ロシア	石川県金沢市立西小学校 5年	School 19 小学校 3年
44		石川県金沢市立西小学校 5年	School 19 小学校 5年
45		大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2年	School 1129 中学校 1年
46		大阪府寝屋川市立友呂岐中学校 2年	School 1129 中学校 2年
47		石川県金沢星稜大学	Lobachevsky State 大学
48	台湾	石川県金沢市立四十万小学校 6年	Ze Hsin 小学校 5年
49		石川県金沢市立浅野川小学校 6年	JhiehKai Elementary School
50		石川県金沢市立浅野川小学校 6年	JhiehKai Elementary School
51	アメリカ	大阪府私立羽衣学園高校 1-2年	Bergen Country Technical 高校 1-3年
52		埼玉県草加市立高砂小学校 4-6年	Van R Butler 小学校 4-5年
53		神奈川県横浜市立高田小学校 6年	Sultana 小学校 4年
54		神奈川県横浜市立高田小学校 4年	Sultana 小学校 4年
55		石川県志賀町立富来小学校 5年	Sultana 小学校 4年
56		石川県志賀町立富来小学校 5年	Sultana 小学校 4年
57	ザンビア	石川県金沢市立小坂小学校 5年	Twashuka 小学校

2 交流活動の流れと協同学習の様子

(1) 一年間の活動の流れ

JAM は、参加する教師がそれぞれの学習のねらいに合わせて容易に年間の授業設計ができるように、スケジュールモデルと交流授業カリキュラムモデルを参加校に配布している。



アートマイル国際交流カリキュラムモデル

単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や壁画の協同学習を通して、相手を理解し自分の思いを伝えることができる(コミュニケーション) ・交流相手を通してステレオタイプでない生の異文化に接し、相手を理解することができる(異文化理解) ・自分たちの地域や文化を調べて伝えることで、自分たちの良さを再認識することができる(自文化理解) ・テーマについて調べたことや考えたこと、人に伝えたい思いを絵で表すことができる(表現)
--------	---

◎5月～7月は交流準備期間、9月に海外パートナー校と交流をスタートします。

段階	学習活動	ねらい	教科・領域
5月	導入 2～3h	1) オリエンテーション ・ワークショップ体験など 2) アートマイル作品を鑑賞する ・Web/ゲストティーチャー	図工・美術
6月	テーマ学習 3～5h	1) テーマを決め、下調べをする ・ゲストティーチャー ・ビデオ/図書/インターネット	国語
7月	情報収集 2～3h	1) 学校や地域を紹介できる資料を集める ・校外活動/カメラ・ビデオ 2) 外国語で自己紹介を練習する ・ALT/地域の外国人の方	外国語活動
9月	自己紹介 4～6h	1) 自分・学校・地域を紹介する ・自己紹介カード/ビデオレター ・掲示板/TV会議	外国語活動 技術・家庭科 国語
10月	テーマ交流 4～8h	1) テーマに沿って自分の国や地域・相手の国や地域を調べる ・図書/インターネット ・校外活動 2) 調べた内容を報告・共有する ・掲示板/TV会議	社会科 国語 外国語活動
11月	構図決め 3～6h	1) 構図と制作分担を決める ・掲示板/TV会議 2) 下絵をデザインする	特別活動 図工・美術
12月	日本側制作 6～8h	1) キャンバスに下絵を写し、色を塗る 2) 描いている様子や作品を相手に伝える ・掲示板/TV会議 3) 半分できた絵を相手に郵送する	図工・美術
1～2月	相手側制作	1) 相手の制作過程を知る ・掲示板/TV会議	外国語活動
3月	鑑賞 2～3h	1) 完成作品を展示・鑑賞する 2) 作品や活動をふりかえり、感想を伝え合う ・掲示板/TV会議	図工・美術 外国語活動 特別活動

(2) 協同学習の様子

日本と海外の参加校は、JAM が交流ペア毎に開設している電子フォーラムを使って、協同学習を進める。

[9月：出会い-自己紹介]

ペア毎に相手と1対1でやりとりできるフォーラムに自己紹介文を載せ、生徒の写真を添付したり、手書きのカードをスキャンしてアップするなどして、相手と友だち関係を作る。



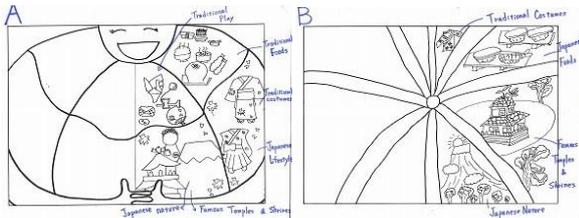
[10月：テーマの協同学習]

相手と相談して決めたテーマについて学習したことをフォーラムに書き込んだり、テレビ会議で直接伝え合ったりして、想いを共有する。協同学習したことをどのように絵に反映させるかについて一緒に考える。



[11月：構図と制作分担の決定]

構図・制作分担・描く内容を相手と相談して決める。絵の下書きをする。



[12月：日本側制作]

12月中に日本側がキャンパスの半分に絵を描いて、相手に送る。



[1~2月：海外側制作]

相手があとの半分を描いて壁画を完成させる。完成した絵を鑑賞した後、日本に送り返す。



[3月：鑑賞とふりかえり]

完成作品を展示して鑑賞する。
一年の活動をふり返る。



■完成作品の紹介

<東エルサレムの小学生と共同制作>



<カナダの小学生と共同制作>



<アメリカの高校生と共同制作>



<カタールの中学生と共同制作>



<ポーランドの中学生と共同制作>



<ニュージーランドの小中学生と共同制作>



<グアテマラの小学生と共同制作>



<台湾の小学生と共同制作>



3 成果

(1) 世界の人々と心が繋がった

プロジェクトに参加した教師と子どもたちは、「確かに存在する相手」と交流して世界を身近に感じ、一枚の壁画を共同制作する活動を通して世界の人々と協働する喜びと自信を得た。

パキスタンの小学生と交流した愛知県の小学生は、昨年夏にパキスタンが洪水被害を受けたことを知って、「パキスタンの子どもたちのために何かしたい」と自主的に募金活動を行った。



担任教諭から「子どもたちに意識の変化が見られた」と次の報告があった。

- ①「助けよう」から、「助け合う」ことが大切だと考える児童が見られるようになった。
- ②「パキスタンの人々のために」から「世界の人々のために」と、子どもたちの視点が世界へと向かい、その中に自分を位置付けて、世界のために自分が役に立つことをしていきたいと考える児童が見られるようになった。
- ③「思う」だけでなく「行動を起こす」ことに積極的になった。「大人になってもこうした活動をしたい」といった考えが多く見られた。

(2) 東日本大震災直後に海外参加者から日本に祈りと応援のメッセージ

震災直後から海外交流校から多くの祈りのメッセージや励ましの手紙が届いている。日本の参加者たちは、「アートマイルで世界の人々とこんなにも心が繋がった」と感激した。

【メッセージを寄せてくれた国・地域】

アメリカ、アゼルバイジャン、イギリス、イタリア、イラン、インドネシア、エジプト、カナダ、ガーナ、カタール、韓国、台湾、ニュージーランド、パキスタン、東エルサレム、フランス、ポーランド、モロッコ、ロシア

【生徒たちの手作りカードや折り鶴】

＜インドネシアから＞



＜韓国から＞



＜パキスタンから＞



＜台湾から＞



（3）教育界で実績が評価された

本年度は文部科学省後援事業としてプロジェクトを実施した。また、交流学习の実践が教科書で紹介され、研究論文が受賞するなど、教育界で高い評価を得た。

①23 年度から採用される小学校の図画工作の教科書「思いをこめて」（開隆堂出版）の「みんなのギャラリー」で日本とカナダの小学校のアートマイル交流が紹介された。



- ②「教育美術 12 月号」（財団法人教育美術振興会）の特集でアートマイルプロジェクトが取り上げられた。題：「図工美術で教室から世界につながる ジャパンアートマイル」（4 ページ）
- ③アートマイルの研究論文「国際交流プロジェクトにおけるコミュニケーション・ツール利用の分析」（執筆者：東北学院大学 稲垣忠、金沢星稜大学 清水和久、ジャパンアートマイル 塩飽隆子）が、「第 3 回日本視聴覚教育協会・井内賞」を受賞した。

（4）ユネスコスクールと連携

JAM はユネスコスクールと連携して、持続発展教育（ESD）を学校で実践している。本年度は、アートマイル参加校の 4 校がユネスコスクールとして持続可能な発展をテーマにアートマイル交流に取り組んだ。

（5）国際物流 UPS による輸送支援

UPS から社会貢献活動として輸送支援をしたいと申し出があり、8 つの国・地域を支援対象として日本の学校 34 校から海外パートナー校へ送る荷物の輸送費を UPS が負担してくれた。

4 課題と対策

一年間の交流活動を検証した結果、以下の課題が見えた。

- ①フォーラムを使わないペアがあった→交流状況が見えず進捗状況の把握が難しかった。
- ②交流の一方がほとんど情報発信をしないペアがあった→交流活動がうまく噛み合わず、しばしば交流の停滞が見られた。
- ③進捗レポートを提出しない学校があった→スケジュールの大幅な遅れに繋がった。

双方の生徒が相手と繋がっているという実感をもって交流し、海外のもう一つの教室の仲間と学びを共有し、共同制作の達成感を得るためには、教師同士が密にコミュニケーションを取り合って相手と信頼関係を築くことが鍵である。

JAM では、こうした学びを支えるために、電子フォーラムやテレビ会議などの交流ツールの充実を図るとともに、進捗状況をしっかり把握し、タイムリーで的確なアドバイス、時には厳しい助言をすることが必要であり、それに向けてサポート体制を整備することとする。